



# 南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和6年11月26日発行

東久留米市立南中学校  
〒203-0021 東久留米市学園町 2-1-23

校長 若澤 直樹

## ふれあい月間

### いじめ防止対策と人間関係形成能力

11月はふれあい月間です。そして来月は人権週間が控えています。東京都教育委員会のふれあい月間の大きな目的はいじめの防止ですが、今月の全校朝礼では、いじめの防止のために、まず自分と周囲の人との関係を考えてよう、と全校生徒にお話ししました。

いじめ防止対策推進法でのいじめの定義ではいじめとは「受けた人が心身に苦痛を感じているもの」です。いじめには様々な形がありますが、SNSでの誹謗中傷など離れたところで相手を傷つけるようなことを防ぐには、相手や周囲の人の気持ちや受け取り方を想像できる力を育てていくことが必要です。そして自分の発する言葉や行動が、相手や周囲の人にどう受け止められるかを考える力は、周囲との良い人間関係のための必須の力です。

「親しい人だけではなく周囲の様々な人とそれぞれに良い関係を保つことは、私たち大人にもやはり難しいことであるし私も努力していることです。そのような難しいことだからこそ君たちが今そのための基本を身に付けておくことは、君たちの未来でとても役に立つ大切な力になります」と話し、相手の気持ちを考え周囲との良い人間関係を作る力は、幸せな人生のための大きな力になるということをお伝えしました。

12月4日から10日は人権週間です。学校でも今までも様々な場面で人権について考える取組をしていますが、この機会に子どもたちと一緒に人権について、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること、相手の気持ちを考えることを考える機会を持ちたいと思います。

## 地域社会の中で育つ自己肯定感と社会性

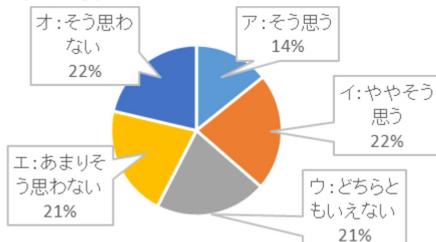
### お芋掘り・お餅つき

11月3日に青少年健全育成協議会主催の「お芋掘り」があり、今年も大勢の南中生がボランティアとして小学生のお世話をしてくれました。また、12月1日には「お餅つきとあそび」の催しが本校校庭で行われます。こちらもたくさんの生徒がお手伝いボランティアとして参加申込みをしています。

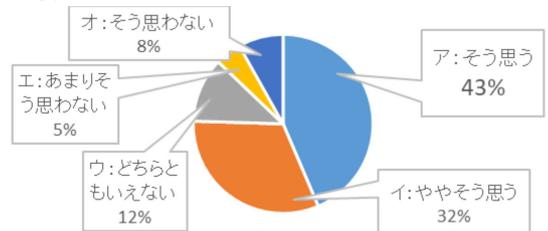
地域社会での活躍の中で子どもたちに自己肯定感と社会性を育てようという本校での取組みも2年目になりますが、この取組みでの効果を知るために生徒に昨年度の7月と今年度の11月に同じ質問項目でアンケートを取り比較しました。その中の2つの項目をご紹介します。

『地域での活動に参加することで、リーダーシップを身に付けたり、自分の成長につながったりすることを実感することはありますか？』

〈令和5年7月〉

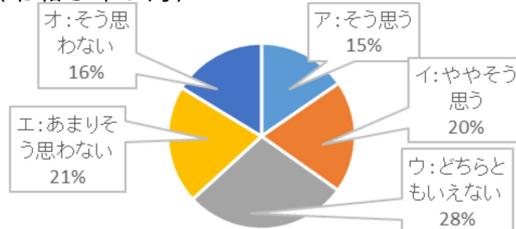


〈令和6年11月〉

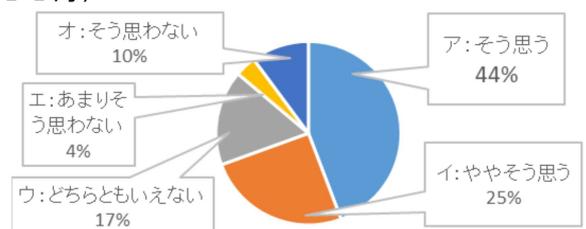


『自分たちは地域の一員であり、地域の発展や人々の幸福に貢献できる存在であることを実感することはありますか？』

〈令和5年7月〉



〈令和6年11月〉



どちらの項目でも肯定的回答がほぼ2倍と大きく向上していました。様々な方のご協力を得ながらの活動の中で生徒の社会性と自己肯定感は育っていることが確認できました。12月1日の「お餅つきとあそび」の会でも参加する生徒に大きな成長があることを期待しています。

# 1年 川越校外学習

1年生は、川越市内を巡る校外学習を行いました。中学校生活初めての校外学習に向け、きまりやコースを検討し、当日を迎えました。事前に計画をたてた見学地の川越市博物館・時の鐘・菓子屋横丁等、臨機応変に対応しながら、大きなトラブルもなく、友達と協力して班行動をすることができました。今後は、班で学んだことを新聞にまとめ、発表を行い、学びを深めていきます。

(校外学習担当 片山 裕司)



氷川神社の鯛みくじ



チェックポイントの  
川越市博物館

時の鐘の前で



川越銘菓をいただきます!

## 新入生体験入学

11月6日に、南中学校学区の小学6年生の児童を対象に、新入生体験入学を実施しました。体育館の全体会では、生徒会役員が中学校での生活や小学校との違いをクイズ形式で説明したり、制服や体育着を実際に着て音楽に合わせて紹介したりしました。その後、グループに分かれ、中学校の授業見学・授業体験・部活動体験に取り組みました。南中生の活気ある活動に、小学生は終始笑顔で体験に臨むことができ、中学校生活を楽しみにしているという声を多く聞くことができました。

(生徒会担当 井田 歩希)



科学部 実験の様子

## 自転車安全教室（スケアード・ストレイト）

自転車による交通事故の防止のため、自転車交通安全教室を開催しました。校庭にトラックや乗用車を走らせ、スタントマンによるリアルな交通事故が目前で再現されました。交通事故の怖さを目の当たりにし、どのような自転車の乗り方をすれば事故を防ぐことができるのか、考える良い機会となりました。

※「スケアード・ストレイト（恐怖の直視）」とは、怖い思い、ヒヤッとする体験を通じて啓発効果を高める教育技法です。



### <南中生の活躍>

- 男子バドミントン部 東京都中学校バドミントンEブロック（第8.10.11合同ブロック）  
新人大会 男子団体 第5位
- 女子バレーボール部 東京都中学校バレーボール11ブロック新人大会  
決勝リーグ進出 第5位
- 女子バスケットボール部 東久留米市内シード権大会 優勝
- 女子テニス部 東京都中学校多摩新人テニス大会  
女子団体 本選出場
- 演劇部 北多摩中学校演劇発表会 優秀賞

